

報道機関各位

大凧の大きさは  
畳8枚分！

長岡市中之島支所産業建設課長



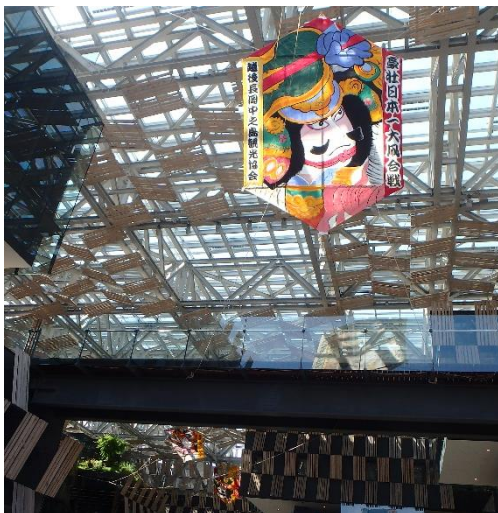
## 県指定無形民俗文化財「見附今町・長岡中之島大凧合戦」をPR アオーレ長岡に大凧を展示します

6月3日（土）～5日（月）に、4年ぶりに開催する「見附今町・長岡中之島大凧合戦」をPRするため、アオーレ長岡に大凧を展示します。360年以上の歴史を誇る伝統の大凧合戦の迫力を間近で感じることができます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、広く周知にご協力いただくとともに、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

### アオーレ長岡 大凧展示

- 1 場 所 アオーレ長岡ナカドマ、ホワイエ（長岡市大手通1-4-10）
- 2 期 間 5月18日（木）～6月12日（月）  
※ホワイエは、6月6日（火）まで
- 3 展 示 数 ナカドマ…六角大凧2枚（凧が揚がっている様子をイメージ）  
ホワイエ…六角大凧2枚（大きさを間近で体感できます。） 計4枚  
※大凧1枚の大きさは、縦4.32m、横3.32m
- 4 設置日時 5月17日（水）午後6時～9時予定（ホワイエ内は午後2時から）
- 5 その他 5月15日（月）～6月5日（月）にアオーレ長岡の大型ビジョンで「見附今町・長岡中之島大凧合戦」PR映像を放映します。



【令和元年の展示の様子】

#### 【見附今町・長岡中之島大凧合戦の由来】

長岡市中之島地区と見附市今町地区の大凧合戦は、刈谷田川の両岸から揚げたお互いの凧を空中で絡めあい、どちらかの糸が切れるまで引き合っ、勝敗を決する。

360年ほど前、信濃の紙商人が端午の節句に当地に寄った時に、刈谷田川堤防上で大凧を作って揚げたのが始まりで、現在の形態になったのは、江戸時代の天明年間に刈谷田川改修で堤防を踏み固めるために行って以降といわれている。

様々な絵柄や色彩を用いた凧が大空狭しと駆け巡り、その壮大さと優美さでますます盛況さを増している。

「越後の凧合戦習俗」の一つとして新潟県無形民俗文化財に指定されている。

（指定日：平成27年3月24日）

問い合わせ：中之島支所産業建設課 土田  
TEL 0258-61-2013